「持ち上げない介護」を諦めない！

～導入からの歩みとこれから～

特別養護老人ホーム　社会福祉法人賛育会　相良清風園

岩澤亜子・永田千尋

社会福祉法人 賛育会

相良清風園

- 開設　2001年7月1日　創立2２周年
- 特別養護老人ホーム　50名　短期入所生活介護　20名
- 通所介護　訪問介護　居宅介護支援事業所　地域包括支援センター
- 職員数：正職員37名　非常勤職員54名

社会福祉法人

賛育会

- 設立　1918年　創立105年　法人本部　東京都墨田区
- 医療　病院　診療所　・保育　保育園
- 介護　特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護医療院ケアハウス・グループホーム
- ほか在宅サービスを東京・長野・静岡で展開。御前崎市に東海清風園
- 職員数：正職員960名　非常勤職員1000名

2016年からの歩み
持ち上げない介護推進の背景

- 介護人材の不足　⇒　処遇改善の必要性
- 働きやすい職場環境づくり
- 腰痛予防対策として「持ち上げない介護」に取り組む
- 推進のため法人内で「介護・リハビリ連携会議」発足

2016年以前
取組み前の当施設

- **移乗介助**：全介助のご利用者は**２人で抱え上げて**
  車椅子へ移乗（１４名）

- **リフト**：２台保有。重量のあるご利用者専用
  殆ど使われていなかった。

- **入浴**：大型移乗ボードで移乗　**←持ち上げない介護**
  （移動用ストレッチャー⇔入浴用ストレッチャー）

2016年 12月
「持ち上げない介護」チャレンジ スタート！

- 法人内各施設に１台リフトを導入、計３台に。
- 目標は

「２人で抱え上げていた
１４ 名すべてを
リフト移乗に移行する」

抱上げゼロを目指して

２種類のリフト
計３台

5種類のスリングシート
計６枚

スリングシートを増やし

リフトでの移乗に切り替えていった

2017年
リフト導入に関するアンケート（6か月後）

①職員の反応

はじめは時間がかかり面倒だと感じたが
今は負担も感じないし良かった。

体がかたく移乗が大変だった方がいたが
身体的にも気分的にも楽になった。

好意的な意見が多かった

時間短縮のため抱えたくなる時もあるが、機器があることで
自分の体を大切にしなければという意識が高まった。

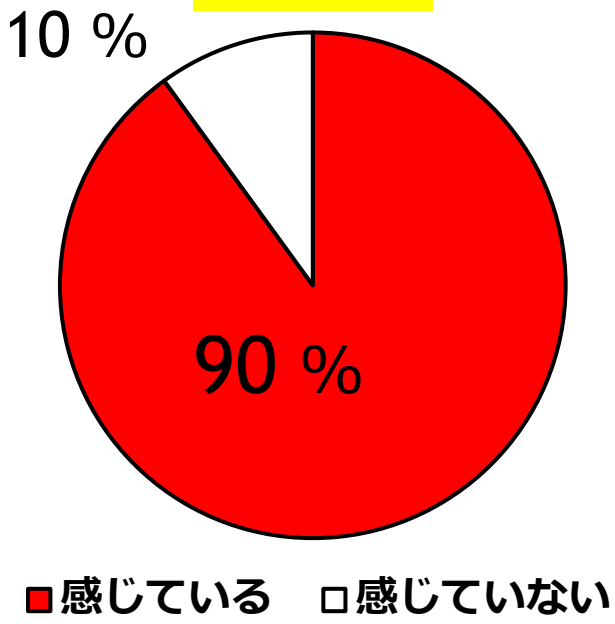
満足そうなご利用者もいれば、怖いと感想を言う人もいる。

人の手より安心感がある様子だった。

②リフト導入の効果

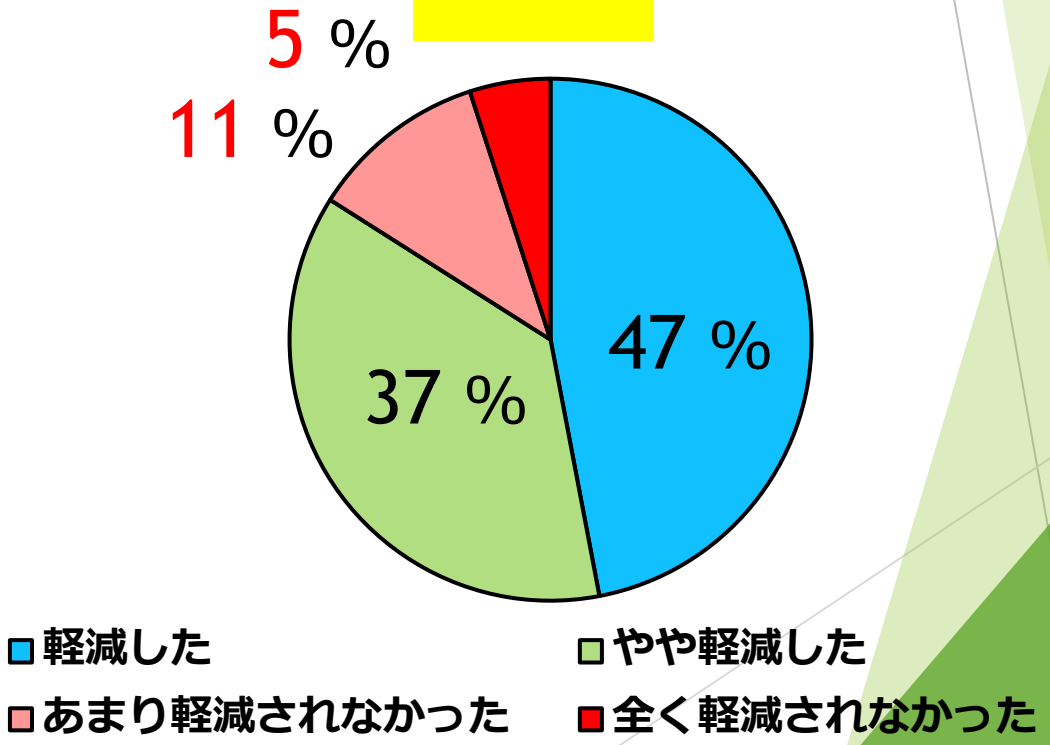
介護業務の身体的負担は大きいと感じているか

導入前



身体的負担は軽減したか

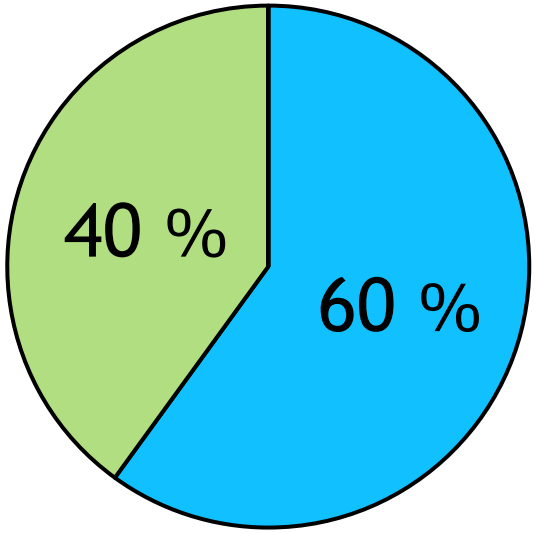
導入後



使用頻度に分けて分析し直してみる

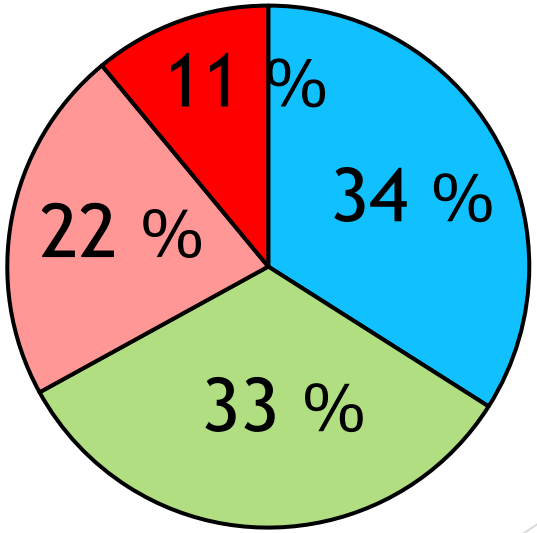
身体的負担は軽減したか

よく使う人



- 軽減した
- やや軽減した
- あまり軽減されなかった
- 全く軽減されなかった

あまり使わない人



- 軽減した
- やや軽減した
- あまり軽減されなかった
- 全く軽減されなかった

使用頻度が**低い**職員は**効果を実感できない**

効果を感じる機会が少ないからではなく
手順や操作に気をとられ、無駄な動きが多く疲れるから

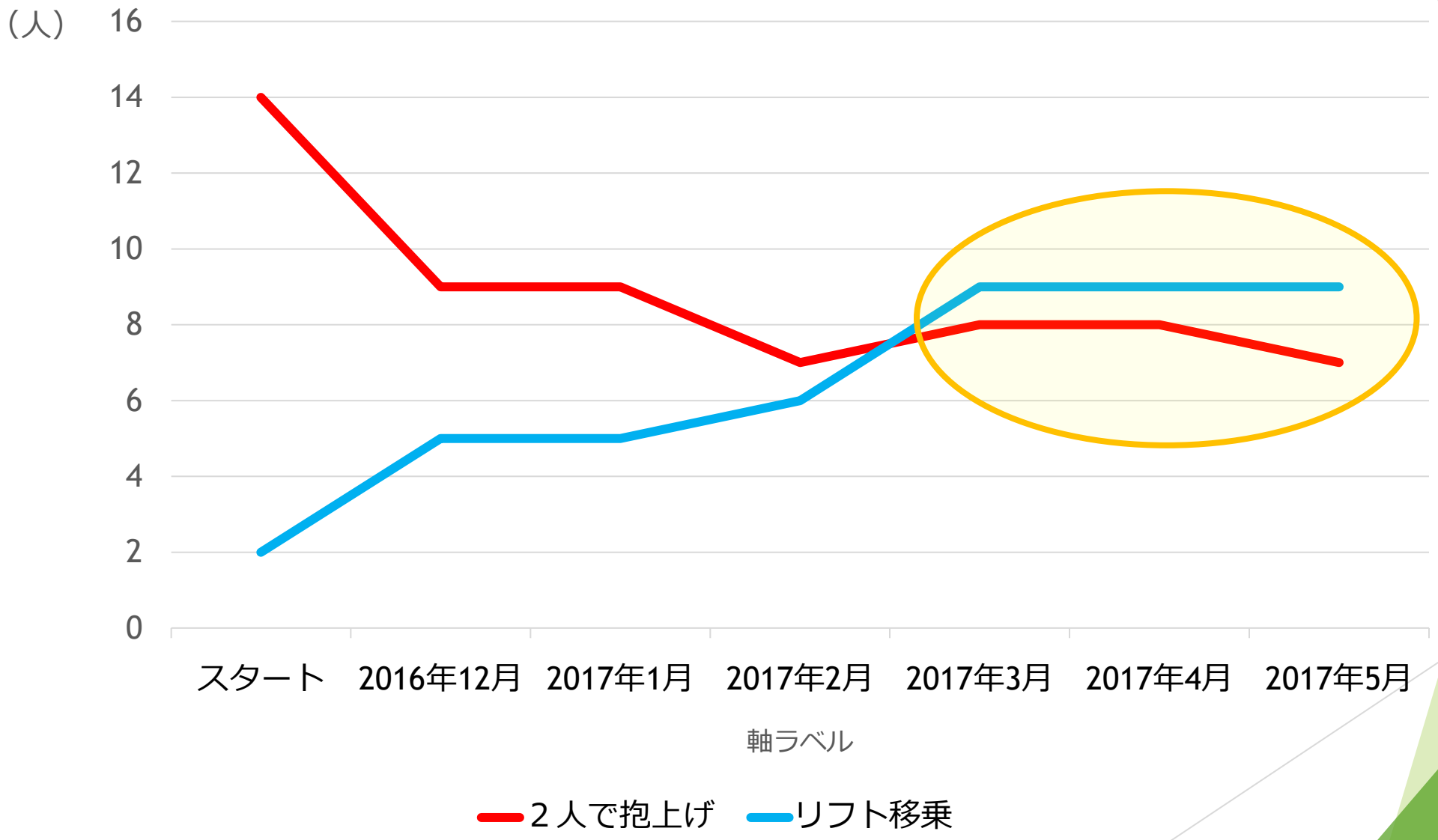
大切なことは・・・

- 毎日のように使い続けること
- 手順や操作に慣れること

頭で考えずにリフトを操作できるようになる

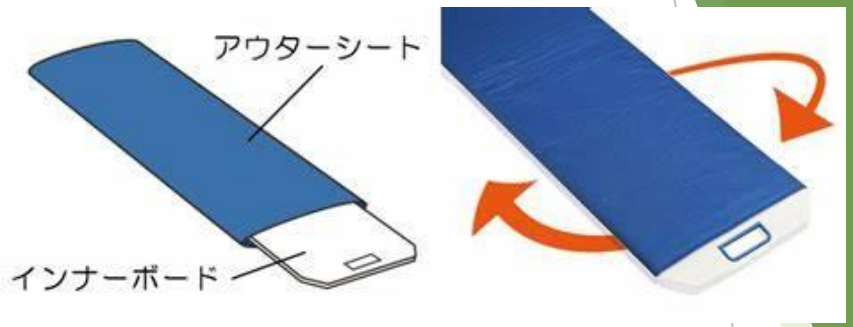
⇨ **リフトの効果を実感できる**

リフト移乗への推移①


（人）
16
14
12
10
8
6
4
2
0
スタート
2016年12月
2017年1月
2017年2月
2017年3月
2017年4月
2017年5月
軸ラベル
２人で抱上げ
リフト移乗

リフト移乗－９人の壁

- これ以上は業務がまわらない⤵
- **移乗ボード**活用を検討

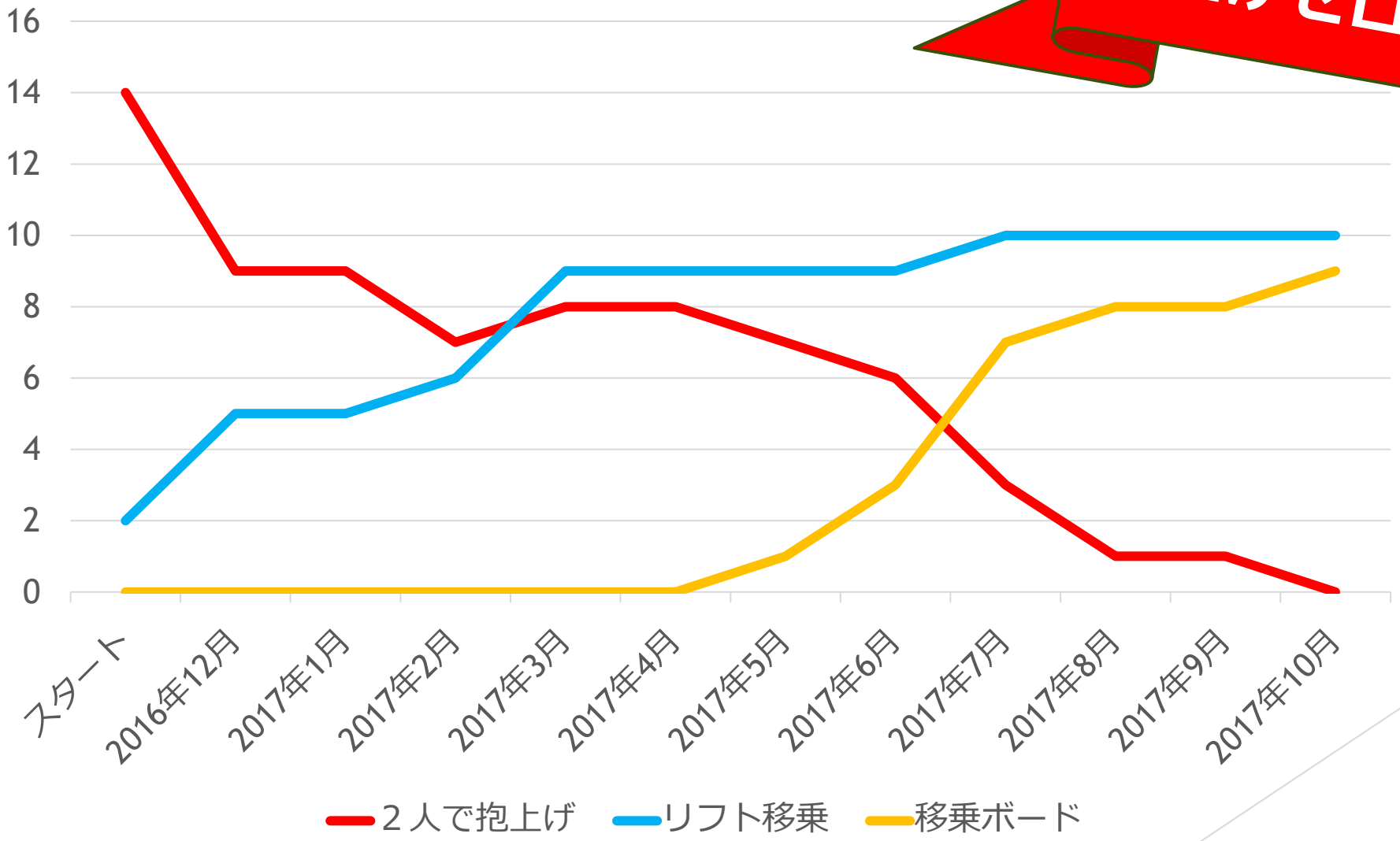


移乗ボード大活躍！

移乗ボードに挑戦

- 入浴時は**フラットな状態**での移乗
- ベッド－車椅子移乗はフラットではない。
- 試行錯誤を重ね、**動画や写真**で職員に説明。
- リフトに比べて手順が少なく時間もかからない。

リフト移乗への推移②



抱上げゼロ達成！

この取組みで心がけたこと

- リフトや移乗ボードを**使いやすい環境**をつくる。
- **現場のリーダーが自ら率先してリフトや移乗ボードを使う。**

●**メリット**（介護者の身体的負担軽減など）
●これからの介護に**必要であること**
●**利用者にもメリット**があること
●**続けていくこと**

ご利用者Ａさん

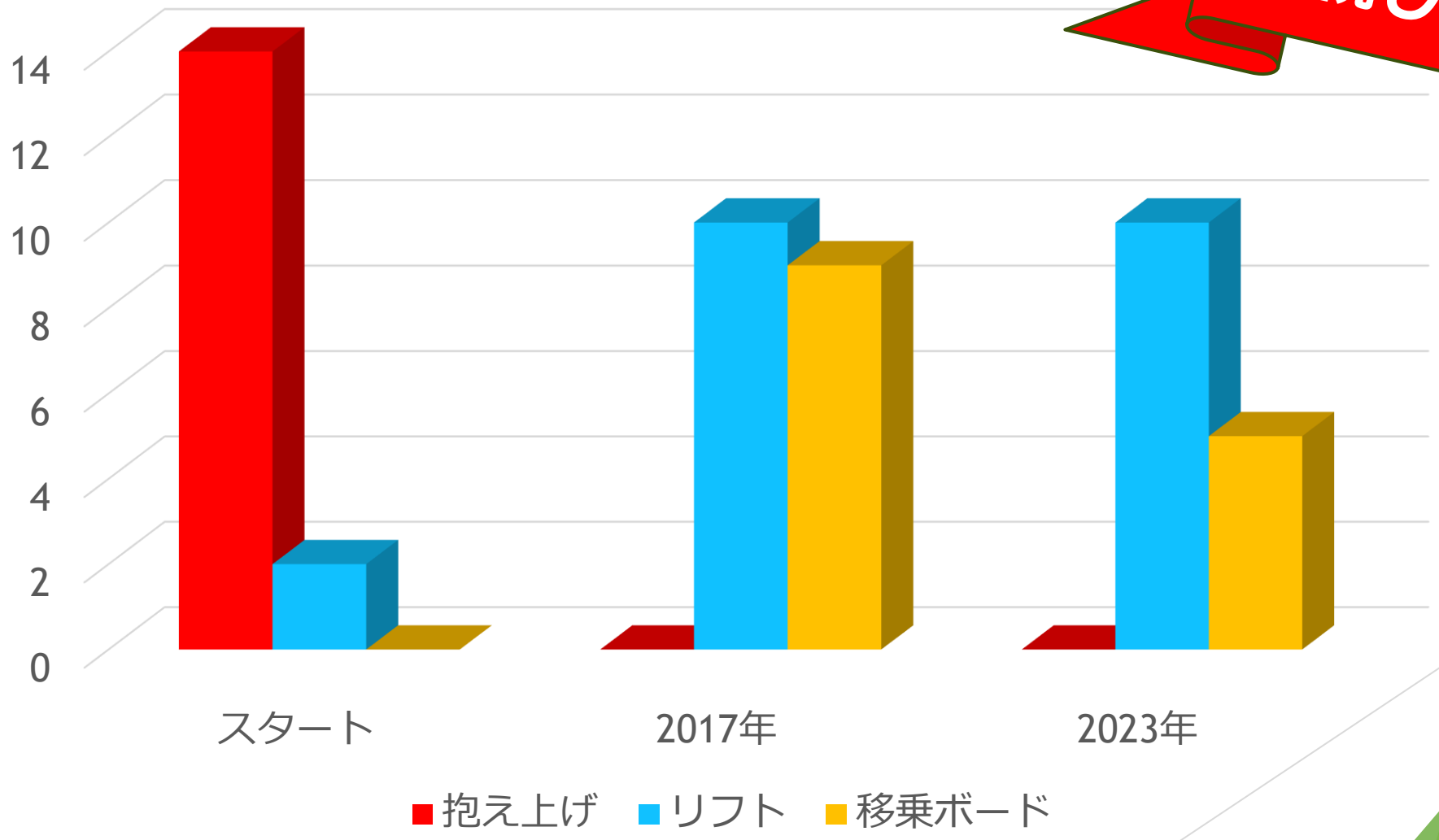
怖かったり
痛かったことは
今までないよ。

法人全体で行っている「持ち上げない介護」を続ける取組み

「持上げない介護」研究発表会

- 2018年　好事例の発表、リフト標準マニュアルの作成など
- 2019年　標準マニュアルの更新、「持ち上げない介護マイスター養成」など
- 2020年　４か年の成果と課題について共有、スリングシートの選定方法など
- 2021年　事故防止対策の強化、安全・安心な生活の提供を目指す
- 2022年　現状の課題（困っている事）を法人内で共有・課題解決に向けて討議

2023年
「持ち上げない介護」の現在



継続してます！

「持ち上げない介護」７年目　職員の声

２人で抱え上げていた頃に戻りたいですか？

戻りたいかどうかではなく、無理。よくやっていたなと思う。
（70代 女性）

戻りたくない。腰痛が全くなくなる訳ではないが、
やって良かったと思う。（60代 女性）

戻りたいとは思わない。やってよかった。（40代 女性）

抱えなくていいのは助かる。ご利用者も楽だと思う。
リフトがなければ今の仕事はできないかもしれない。
（50代 女性）

2023年
持ち上げない介護の広がり

リフト等の充実

ショートステイ

デイサービス

ご利用者の送迎

リフトやスライディングボードの活用が広がっている

2023年
新たなステージへ　チャレンジは続く！

- 2022年3月に受けた研修でリフトの新しい可能性を知る。

  「リフトは重度化予防に役立つ」

- ご利用者を適切にリフトで吊り上げる
  - 座位姿勢がとれる
  - 無理な緊張が抜ける
  - 拘縮予防につながる　など

まだまだ勉強中です

私たち 相良清風園は

私たち 賛育会は

「持ち上げない介護」を続けていきます！

ご清聴ありがとうございました